

## 平成30年度 5月教育委員会 会議録

開催日時	平成30年5月25日（金） 13:30～16:00	
開催場所	早島中学校（多目的室）	
出席者	委員	徳山順子教育長、大森茂委員、森綾子委員、綾野克紀委員、竹井成範委員
	事務局	貝畑和明学校教育課長、黒木克美生涯学習課長、猪木浩二課長補佐、大部桂嗣主事
会議次第	<p>1 開会 教育長あいさつ</p> <p>2 議事・報告案件</p> <p>(1) 早島町部活動指導員要項の一部改訂</p> <p>(2) 授業等について意見交換</p> <p>(3) 働き方改革について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留守番電話導入</li> <li>・ICTの活用</li> </ul> <p>(4) 国の動向について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領</li> <li>・働き方改革</li> </ul> <p>(5) 研究指定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ESDの視点を踏まえた保・幼・小・中連携カリキュラムの連携</li> <li>・企業体験推進プロジェクト</li> </ul> <p>3 連絡</p> <p>6月教育委員会について</p> <p>日時：6月22日（金）15:00～17:00</p> <p>場所：町民総合会館 2階 研修室</p>	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	大部 桂嗣	

### 会議内容

- 1 開会  
教育長あいさつ

教育長：中学校の授業参観をしていただきありがとうございました。また、授業について忌憚のないご意見をよろしくお願ひします。参観いただいて感じられたと思いますが、授業改善が喫緊の課題であり、全国調査結果を見ましても、復習の定着や家庭学習の充実を図っていく必要があります。また、学級づくりや教師の言葉かけ等、お気づきのことがあればお願ひします。教材研究については、学習指導案をノートに毎回書いて、授業設計を十分練って取り組んでいく必要があります。忙しい毎日ですが、子どもたちの学力向上に向けて、付けたい力を明確にした授業づくりを行っていきたくお願ひします。教育委員会も授業を参観し指導していますが、まずは、校内で身近にいる管理職が毎日授業をしっかり見て指導するのが責務であり、日々の参観が授業改善につながっていくとお願ひします。

本年度は、小学校の外国語活動の先行実施につきましては、英語専科とALTとで、外国語活動の授業に取り組んでいます。ほぼ全学年の外国語活動を、専科とALTとのTTでしていますので、指導しやすく、学年を通して一貫した指導ができます。基本の指導がしやすく、改善もされやすいと感じています。小3から中3までのカリキュラムを作成していきたいとお願ひします。

本日の議題は働き方改革や研究指定などとなります。よろしくお願ひします。

## 2 議事・報告案件

### (1) 早島町部活動指導員の要綱の一部改訂

教育長：第6条についての改訂。長期休業中について追記となる。日曜日に、今年度の部活動指導員の面接試験を行った。あとは、女子バスケ部とサッカー部を募集している。また、面接をしていて現在の個人調書では情報が少ないこともあり、様式第2号を役場の一般職非常勤職員登録申込書を参考に改訂した。

大森委員：どうしても自己申告になるので虚偽の可能性はあるのでは。

教育長：個人調書に虚偽であれば、解雇の対象にもなるとも明記されている。そのような方はいないと信じたい。面接等でしっかりと見極めていく。

綾野委員：指導暦があれば選考上よいのではないか。

教育長：それは大切なことだ。

綾野委員：「個人調書」という名前が消えているが。

教育長：名前の変更は可能だ。どちらがよいか。

竹井委員：「調書」だと強い印象を受けるので、「申込書」にしては。

教育長：「申込書」とする。

教育長：昨年、部活動指導員を採用してから、生徒からの評判もよく、やる気になったという声を学校側から聴いている。働き改革で超過勤務も減少傾向にあり、成果を挙げている。あと2つの部の募集をかけている。

綾野委員：時給1,600円なら応募がありそうだが。

教育長：5月採用の部活動指導員は28日に教育委員会で研修を受けたあと、中学校に行

き、校長から学校経営方針や部活動の方針を聴き、実際に指導をしていただくことになる。

## (2) 参加授業について意見交換

大森委員：自分が中学生の時に比べると変わっている。学年で教えることは同じなので、教科担任の教え方で大きく学力は変わりそうだ。いい部分と心配な部分がある。

教育長：1～3年生の授業を参観して、どうか。

大森委員：2年担当の先生はよく連携が取れていた。互いに共通理解をとって取り組んでいると感じた。ただ校舎の傷みが気になった。

教育長：小学校も中学校も、年数が立ち痛んでいるところが多く、安全面についても修理は随時している。

森委員：それだけ痛んでいるなら早く別のところに新しく校舎を建てればいいのかという地域の声も多い。建て替えを考えるなら狭い土地で考えるのではなく、広いところで考えるべき。

綾野委員：耐震するか、新校舎か。

教育長：耐震工事は終わっており、将来の早島を見据えて、義務教育学校などの結論を出していかなければならない。

綾野委員：建築の考えから言えば、まずオーナーの考えがあって、オーナーが方針を示したものが答えとなる。10年使うのか、30年使うのか、決断していくべきだ。

教育長：ゴールが不明確ではいけないということか。様々な情報を集めて、将来を見据えて、ゴールを明確にしていく時期が来ている。

綾野委員：早島は景観条例のため4階以上の建物を作れないのも大きな制約だ。

竹井委員：私が通っていた頃と比べると、校舎がかなり痛んでいるのがわかった。「教育の町」を言うのであれば予算も必要だ。そのためには授業内容の改善は当然だ。そろそろ本気で考えていかなければならない時期ではないか。

教育長：総合教育会議で町長とも話していきたい。今年度、ゴールを明確にしていきたい。

綾野委員：ESDを総合的な学習の授業でしていたが、ESDを扱うのは難しくないか。

教育長：今回は、発問の仕方がやや曖昧で分かりにくかったかもしれない。でもESDの6つの構成概念と7つの能力・態度のカードを授業で活用していたし、中学校が動いてきていると感じた。付きたい力を明確にして取り組むことが大切だ。

綾野委員：誘導し過ぎるのもダメだが、その加減が難しい。他の学級の授業を他の先生が見ることはあるのか。

教育長：教科の授業は互いに見合い、研究していると思う。ぜひそれはしていただきたい。若手教員が経験豊富な先生の授業を参観し指導を仰ぐなど、OJTに取り組んでいるところだ。よいところはまねていくことも指導力を高めていく。また、よい取組は個人のものでせず、学校全体で揃えていくことも必要だ。そうすれば若手教員が助かるし、生徒にとっても、先生によって指導が違っては混乱するだけだ。3学年を見通した取組としたい。

森委員：学年によって特色はあると思うが、やはり学年団がまとまれば生徒にもよい影響がある。中1の生徒が、小6のときのより授業のレベルが下がっていると感じているのではないか。

綾野委員：理科の授業を見たが、顕微鏡の扱い方がよくない。安全や取扱いについて徹底してから使わせないと、おもちゃと同じでは駄目だ。

教育長：顕微鏡の使い方は、当然教えるべき基本的なことだ。一人一台の顕微鏡が使えることは生徒にとって幸せなことであり、感謝の思いとともに、公共物を大切にする気持ちを育てたい。理科室での安全面や顕微鏡の使い方は、中学1年生の教科書に載っている。教員にも改めて徹底させたい。

綾野委員：町からお金が出るから先生方もそこまで壊れたりすることを思わないのでは。

教育長：学校の備品は地域の方の税金で成り立っており、大切にしていきたい。こうしたことも含め、感謝の心は常に育てていきたいものだ。

森委員：3年生の、先生の生徒への言葉が気になった。

綾野委員：逆に生徒が先生にため口で言っている。友達感覚であるのはいけない。

教育長：教師と生徒の接し方について指導する。教員と生徒との適切な空気感は大切だ。

授業はパブリックな場であり、教員も丁寧な言葉で授業を進めてほしいし、生徒も日本語をきれいに使える実践の場として、敬語も使えるようになってほしい。教科書で敬語を習っても、日常で習ったことを実践する指導が必要だ。常に学びは日常生活に役立つものである。

森委員：叩いて叱るなどは当然だめだが、言葉で叱ることは必要に応じてすべき。授業でからかいの言葉があっても、指導していない先生がいる。

森委員：ワークシートをたくさん作っていたが、活かしきれてないように思えた。

教育長：感想やご意見は学校に伝え、次回に活かしていきたい。

### (3) 働き方改革について

#### ・ 留守番電話導入

教育長：留守番電話27市町村のうち導入している自治体が増えてきた。本町でも6月1日から導入したい。夜の緊急時は、学校に渡している専用携帯電話で対応する。

森委員：学校の専用携帯は誰が持つのか。

教育長：管理職が持つ。例えば、教頭→教務→校長と一週間ごとに交代するとか、学校の実情に任せている。

#### ・ ICTの活用

教育長：小学校にシステムを入れたタブレットの導入を計画しており、導入は2学期頃になる。

#### (4) 国の動向について

##### ・ 新学習指導要領

教育長：幼稚園の教育要領は30年度から始まっている。小中学校は今は移行期間。小学校では、道徳は30年度から教科となり、中学校では、今年度は採択の年であり、来年度から教科として採択される。

今、図書館に、中学校の道徳の全教科書を置いている。地域の方にアンケート用紙にご意見をいただき、その意見も反映される。

##### ・ 働き方改革

綾野委員：町の超過勤務減の目標は10%減で、県のほうは25%減なのか。

教育長：県の数値は28年度から31年度で25%減。町の設定している数値は、昨年度より10%減という目標である。昨年度は25%にしていたが、減少したので、10%とした。最終的な削減時間は県と同じであり、それよりも早く達成できる予定だ。

#### (5) 研究指定について

##### ・ ESDの視点を踏まえた保・幼・小・中連携カリキュラム

教育長：教員のESD研修会は、まずは6月24日に教科調査官を招き、小学校で研修会を行う。中学校・幼稚園も参加する。11月13日には、県全体に授業公開をする予定。「まなびの舎」講座でも6月23日に、ESD検定の講座を開く。大勢の方に参加していただきたい。学びが深まると思う。

竹井：はやしま水族館は楽しそうだ。環境教育に向けて、こうした取組はよい。

##### ・ 起業体験推進プロジェクト

教育長：今年度、中学2年生を対象に、国・県の研究指定を受け、起業を起こす体験に取り組む。どんな商品開発ができるか楽しみだ。子どもたちには、学校内での活躍の場の保障はもちろんのこと、学校外にも地域での活躍の場を積極的に与えたい。

また、県生涯学習課の「岡山創生を支える人づくり推進事業」と協力して、中高生の活躍の場としても、IGUSA卓球を全国に広めていく。

### 3 連絡

#### 6月教育委員会について

今回は6月22日（金）15時～17時に開催。